

2020



月号

 ぶうげん
びりあ
No.316
ホームページ <http://www.hahashochu.ogasawara.ed.jp/>

Unfair advantage

校長 新妻 茂

明けましておめでとうございます。

いよいよオリンピック・パラリンピックイヤーが明けました。母島では7月17日に聖火リレーが予定されています。7月24日の開会式に向けてムードが盛り上がっていくことでしょう。

さて、学校では今、次年度の教育課程編成に向けて学校評価を行っています。地域や保護者の皆様にもアンケートを書きいただきましたが、それらも踏まえて十分議論していかなければなりません。また、貴重な記述意見も頂戴いたしましてありがとうございました。ご意見を真摯に受け止め、できることから改善を図っていきたいと考えています。

4月の入学式の式辞の中で、私は、「夢は大きい方がいいです。みんないっぱい勉強して東京大学を目指しましょう。これを『破天荒』といいます。これは私の夢でもあります」と述べました。

「破天荒」は、「今まで誰も成し得なかったことを行うこと」というのが本来の意味です。由来は、唐の時代、荊州（今の湖北省あたり）という土地から官吏登用試験（科挙）の合格者が出たことがなかったため荊州は「天荒（未開の荒地）」と言われていましたが、劉蛻という人が初めて合格して「天荒を破った」と言われた、という故事に基づいています。

したがって、「あの子は母島小中学校開校以来、初めて東京大学に合格した破天荒な生徒です」などと言うのが正しい使い方なのです。

破天荒になるためには、最低限クリアしておかなければならない課題があります。

その一つが、高校の数学です。特に1年生の4月から6月にかけて学習することをクリアしなければなりません。ここで、数学を諦めると進路選択の幅が狭まってしまいます。この段階の数学は高校数学の「道具作り」をしているようなものです。道具がなければその後は太刀打ちできなくなります。中学校ではそれを乗り越えるだけの力をつけておくことが必要です。数検のレベルだと準2級ぐらいの力です。

私は一昨年の4月に公文教育研究会を訪れました。そこで公文式を取り入れている学校の例や公文式の理念、学校で導入するための条件等について意見を交換してきました。公文式というのは、公文公先生が自分の息子さんの算数の答案を見て愕然とし、スモールステップの教材を自ら研究して与えたのが始まりです。公文先生は計算で苦しんでいる高校生を多く見てきたので、計算に特化した教材配列を考えました。したがって小学生でも進んでいる子供は微分積分の計算もこなせるようになるということです。導入のための費用、運営するための経費、導入時の教員の研修、実施するための時間の捻出、教員の配置、その他の課題が多いので、私の頭の中でどうしたものかとずっと逡巡しています。

よく「教育にへき地はない」と言われます。Unfair advantage「不公平な優位性」という言葉もあります。「人それぞれに、その人にだけ用意された特殊な環境があり、それを十分に意識せよ、活用せよ」という意味です。これらの言葉が母島に来て一層心に刺さります。

平成31年度 ロードレース大会 (小学校)

小学校担当

ロードレース大会では、子供たちの粘り強い走りを見ることができました。長距離を走ることが得意な子供もいれば、苦手な子供もいます。一人ひとりが、最後まで諦めずに走りきる姿は、とても立派でした。

子供たちは、ロードレース大会に向けて目標を立て、練習に励んでいました。「前の練習より記録を良くしたい」「友達と一緒に頑張りたい」という思いで、練習に取り組む姿が見られました。また、「どうしたらもっと速く走れますか」「どれくらいのペースで走ると良いですか」と先生に教えてもらいに来る子供もいました。自分の目標に向かって友達と競争したり、励まし合ったりしながら練習を積み重ねていくうちに、記録が伸びる喜びを味わう姿も見られました。

本番、緊張で胸がいっぱいの子供もいれば、リラックスできている子供もいました。互いに「頑張ろう」と声を掛け合い、スタートしていました。下学年に、経験を生かした頼もしいアドバイスをしながら応援する上学年。上学年の力強い走りに、気持ちを高揚させながら応援する下学年。子供たちみんなの「頑張ってる」と「応援」で作り上げたロードレース大会でした。

大会後には、「頑張ってる練習して良かった」「努力することって良いな」「全力を尽くすことができて良かった」と、達成感を味わう言葉を子供たちから聞くことができました。「目標に向かって頑張る」という姿を、これからも色々な場面で見せてくれることを期待しています。

ロードレース大会を行うにあたり、児童・生徒の体調管理や当日の安全確認、交通規制等ご理解、ご協力いただいた保護者・地域の皆様、ありがとうございました。

平成31年度 ロードレース大会 (中学校)

中学校担当

中学生は今年11月から体育の授業で、大会本番に向けて「1周200mのコースを25分間走り続ける」ことに取り組みました。11人の中学生は毎回の授業で『走行距離の更新』『一定のペースで走り切る』『走りやすいフォームを考える』など様々な目標を立てました。体育科の主任教諭は授業中の指導で「走れっ！」と叱咤することはありません。生徒一人ひとりがその日のベストを尽くせるように、また目標を達成できるように、声かけや走行後のフィードバックを行うなど、生徒一人ひとりに合わせた指導を続け、本番当日を迎えました。

大会当日は練習では経験していないほどの気温と日差しの強さの中で行われました。中学生は沿道の声援に背中を押され母島島内を疾走し、全員が完走することが出来ました。多くの生徒が自己記録を更新し、さらに歴代の記録を更新できた生徒もいました。

「走ることが好き」と胸を張って答える中学生はいません。しかし毎年ご家庭・地域の方々からのご支援、沿道からのたくさんのご声援、さらに過去走り抜けた先輩方の雄姿など、様々な激励に支えられていることを中学生は心から感じています。だからこそ懸命に練習し本番に臨めました。来年度もご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。

道徳授業地区公開講座・日曜学校公開にご参加いただいた保護者、地域の方々、ありがとうございました。今年度から中学校でも道徳が教科化となり、基本的には教科書を利用しての道徳授業となります。

道徳で扱う価値の視点は大きく4つに分けられます。今年は、その中の1つである「主として集団や社会との関わりに関すること」をテーマに「家族愛」や「勤労」、「規則の尊重」などの価値について考える授業を各学年で行いました。

また、放課後には、小笠原村教育委員会の方をお招きして、大人向けの道徳授業を含めた講演会を行いました。参加者からは「議論をつくしても答えの出ない授業だと思ったが、面白かった。」「精一杯やろうと前向きな気持ちになれた。」などの感想をいただきました。

授業を行っているとき、児童生徒はこちらが思っていなかった考えを発言したり、こちらが当たり前だと考えていたことを深く考えたり、道徳の価値について改めて教員も一緒に考える場面があったりします。

児童生徒の道徳的な考え方は、学校内だけで行われるのではなく、学校の授業で考えたことをさらに家庭や地域の大人と議論していくことで、さらに広い視点と深い考えをもてるようになり、身に付いていくものなのだと思います。これからも母島小中学校と家庭、地域が協力して子供を健全に育てていければと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

プログラミング教育

先月のプログラミング教育実践報告会から1カ月、この間も本校ではパソコンのタイピング（文字入力）ソフトなどでの基本的な操作や、ロードレース大会の練習でのラップタイムの集計など、プログラミングの実践を積み重ねていました。子供たちはパソコン上で自分たちができることが増えたのがうれしい様子で、意欲的に活動に取り組みました。

先月の学校だよりでお伝えしたように、子供たちがこれから生活していく社会は「超スマート社会」といわれ、今の情報社会よりもインターネットなどの活用が必要となっていきます。それは、この母島も例外ではありません。

プログラミングについて、小学生の子供たちに「パソコンの操作が上達したら、母島にどんなことをしたいですか。」というアンケートを取りました。その回答には、「母島で採れるトマトやパッションなどのポスターを作りたい。」「母島の海のきれいさを伝えたい。」など、島外の人たちに母島の良さを伝えたいという意見が多くありました。

社会は変わっていきますが、「子供たちの母島が好き。守っていききたい。紹介したい。」という気持ちは変わりません。本校では、子供たちに情報活用能力を身に付けさせ、母島のことを多くの人たちに発信していけるよう、次年度以降もプログラミング教育の実践を積み重ねていきます。

1月の生活指導

生活目標

「目標に向かって努力しよう」

- ・新年の目標を達成するために行動しよう。
- ・基本的な生活習慣を身に付けよう。
- ・自分から進んであいさつしよう。

安全指導 7日(火)

「登下校の安全な歩行、自転車の安全な乗り方」が重要指導目標です。安全な歩行について確認し、実践する態度を身に付けさせます。

避難訓練 予告なし

校内の火災発生した場合を想定した避難訓練を行います。今月は、実施日・時間を予告しません。突然の放送の指示に対しても、安全に素早く冷静に避難行動ができるよう指導します。



学習発表会

- 日時
令和2年1月26日(日)
午前8時15分から午後4時30分まで
(12:05~12:30 閉館)
- 当日の予定
○午前授業学校公開
(小学校)「総合的な学習の時間」発表会
・午前9時15分から午前10時00分まで
・場所 体育館
・発表 小3~6
○5・6校時 児童生徒は作品の鑑賞
○体育館の作品は、午後4時30分まで鑑賞していただけます。
※保育園の作品は午後4時までとなります。
- 展示内容
・小学校、中学校各学年の展示
・小学校図画工作科、家庭科
・小学校、中学校各学年の書写
・中学校技術科、家庭科、英語科、美術科
・料理ものづくり部
・小笠原小学校、小笠原中学校、小笠原高等学校
交流作品
・PTA、一般 ・陶芸 ・母島保育園
※小学校図工科、家庭科の作品は、各学年の展示に含まれています。

1月の主な行事予定

			16	木	
1	水	元旦 海開き	17	金	パンの日
2	木		18	土	
3	金		19	日	
4	土		20	月	小朝礼 中朝礼
5	日		21	火	体育館使用休止：始
6	月	冬季休業終	22	水	
7	火	始業式(安全指導) 発育測定、視力検査(全) 書初めの会	23	木	
8	水	SC 在島~10日 百人一首大会	24	金	学校公開日 薬物乱用防止教室(小6、中全)
9	木		25	土	
10	金		26	日	日曜学校公開〈学習発表会〉
11	土		27	月	振替休業日
12	日		28	火	体育館使用休止：終
13	月	成人の日	29	水	
14	火	朝礼(保健指導)	30	木	(中1)職場訪問
15	水		31	木	

平成31年度卒業式日程のお知らせ

卒業式の日程は以下の通りです。

令和2年3月20日(金) 午前10時より

